

コツバメ

「チヨウ目・シジミチヨウ科」

コツバメは1960年代に埼玉県平野部では絶滅しました。しかし越生町では、早春に発生を見ます◆ハネの裏は枯れ葉に「擬態」しており、表には青色の斑紋があるので、全体としては地味です。幼虫はアセビやツツジ類など、山に生育する木本植物の花や実を食べます◆成虫の行動で注目されることは、ハネを閉じ、片側の裏面を太陽



早春に出現するコツバメ成虫

の方向に向けて日光浴をすることです。どこの発生地でも、成虫は少数の個体が見られるだけです。幼虫の主要な餌が限られていること、幼虫の共食いが激しことがその原因でしょう◆1960年代のこと、桶川市にいた私は、友人の〇君が北本市でこの蝶を採集したことを知り、桶川周辺でも捜しましたが、平坦部が多いこの地では見つかりませんでした。そして九州で学生時代を過ごしていた折、霧島山で初めて出会えました◆その後埼玉県に戻ってきた私は、寄居町などの丘陵地では広範囲に生息していることを知りました。なかなか出会えなかったこの蝶を見ると、何となくうれしくなります。本種は、春に一回だけ発生するツマキチヨウ、ミヤマセセリなどとともに「スプリング・エフエメラル（直訳すると春のカゲロウ）」として知られています。スプリング・エフエメラルに出会うと、心がウキウキします。（巢瀬 司）

おごせ アートミュージアム



1年 ^{ほそだ} 細田 ^{りお} 理桜さん
『虫とともだち』



^{いけだ} ^{あおい} 池田 蒼くん
『あとちょっと…』

越生小学校

除雪作業への

協力に対するお礼

2月8日～9日および14日に降った雪は記録的な大雪となり、越生町においても日常生活や交通機関等に深刻な影響をもたらしました。

このような状況の下、たくさんの方のご協力により、町内の除雪作業を行うことができました。除雪作業にご協力いただいたみなさまに心より感謝申し上げます。



越生町のマスコット「うめりん」

3月の納税（3月31日まで）

町 県 民 税 随時期
国民健康保険税 随時期

バーコード印字のある納付書は、納期限内に限りコンビニエンスストアでの納付に使用できます。詳細は納付書をご覧ください。

人口と世帯 2月1日現在（ ）は前月比

総人口	12,428人	(-20)
男性	6,193人	(- 8)
女性	6,235人	(-12)
世帯数	4,937世帯	(+ 1)